

会 長 殿
理事・監事・運営委員 殿
各県自衛隊家族会会長 殿

家族会事 10 号
R 8. 3. 6
公益社団法人自衛隊家族会
事務局長 阿部 知己

令和 8 年 3 月「月報」

1 はじめに

2月8日投開票が行われた第51回衆議院議員総選挙は、与党が過半数の議席を占める結果となり、2月18日に召集された第221回国会（特別会）で、高市早苗氏が内閣総理大臣に指名され、第2次高市内閣が発足しました。

第2次高市内閣では第1次高市内閣の全閣僚が留任しており、小泉進次郎防衛大臣以下、宮崎政久防衛副大臣、吉田真次、若林洋平両防衛大臣政務官が引き続き手腕を発揮されます。小泉大臣は早速2月19日に防衛力変革推進本部の会議を開催し、日本の防衛力を支える「人的基盤」等について議論し、これまで以上に「ここで働きたい」と思える自衛隊を作るという認識が示されました。

わが国の防衛力の抜本的強化に係る事業はもちろんのこと、隊員の処遇に係る様々な施策が盛り込まれた令和8年度予算の年度内成立を、また、隊員の地位を抜本的に改善する手立ての具体的な進展等を大いに期待したいところです。

2 防衛省・自衛隊の活動（各幕HP等より）

(1) 就職援護「佐賀県 バス・タクシー・トラック・自動車整備 合同企業説明会」

自衛隊佐賀地方協力本部（本部長・佐々木防衛事務官）は、1月22日、佐賀市のメートプラザ佐賀において、国土交通省九州運輸局 佐賀運輸支局及び(一社)佐賀県バス・タクシー協会並びに(公社)佐賀県トラック協会及び(一社)佐賀県自動車整備振興会が主催した「佐賀県 バス・タクシー・トラック・自動車整備 合同企業説明会」に参加しました。この合同企業説明会は佐賀県内の運輸業33社が出展し、一般の求職者22名と共に、国土交通省と防衛省間で申し合せた「自動車運送業等及び自衛隊における人材確保の取組に係る申し合せ（令和6年6月28日）」に基づき、陸上自衛隊目達原駐屯地及び近隣駐屯地等から17名の退職予定自衛官が参加しました。



参加企業によるPR



企業ブースでの説明



職員とのフリートーク

会場では、「参加企業のPRタイム」や「職員とのフリートーク」により、実際の働き方ややりがい、自衛官の経験が生かせる場面など、自衛隊OBを含む現役運転手やフォークリフト操縦手から現場の生の声を直接聞ける時間が設けられました。

(2) 訓練・演習

ア 南海レスキューでの即応予備自衛官訓練

第49普通科連隊（豊川市：連隊長 近藤1佐）は1月24日、渥美運動公園（愛知県田原市）で実施された令和7年度方面隊災害対処訓練「07南海レスキュー」実動訓練に本部管理中隊に所属する常備自衛官6名及び即応予備自衛官17名の計23名が参加しました。



即応予備自衛官
シンボルマーク

渥美運動公園に飛来した輸送航空隊のV-22 オスプレイに積載された救援物資を、即応予備自衛官が列を組み、バケツリレー方式で卸下して輸送車両に積載するという一連の行動を演練しました。愛知地本（本部長：丸尾



明野駐屯地でV-22を見学

1陸佐は、この訓練間、「募集広報ツアー」でコースごとに分かれた参加者に、海上輸送・物資輸送・被災者輸送・体験喫食（戦闘糧食）・生活支援の現場の

見学・体験により、自衛隊の任務と仕事の具体像を伝えました。



田原市白谷海浜公園で
輸送艦から上陸した
LCACを見学

イ 日米加共同実働訓練の場を活用した訓練検閲

第12施設群（岩見沢市：群長 福永1佐）は、積雪寒冷地における米陸軍及びカナダ軍との共同実働訓練「ノース・ウインド26」の場を活用し、1月28日から4日間の日程で、隷下の第399施設中隊訓練検閲を実施しました。



カナダ軍との調整



米軍との調整



集結する米軍



集結するカナダ軍



障害処理

(3) 行事支援

第4普通科連隊(帯広市:連隊長 小林1佐)は、1月5日から2月1日までの間、帯広のまつり推進委員会が主催する「第63回おびひろ氷まつり」の協力担任官として氷雪像(滑り台・氷のレリーフ)制作に協力しました。



氷の切り出し 1/30-2/1に15,000人が楽しんだ滑り台

氷のレリーフ

第25普通科連隊(遠軽町:連隊長 谷口1佐)は、北海道紋別市において2月6日から8日の間に開催された「第63回もんべつ流氷まつり」でメイン氷像「厳島神社」(注:紋別市に所在。今年が創祀150周年)や各種イベントが実施できるステージを制作しました。



厳島神社



製作中の全景



氷の切り出し

3 家族会の活動

(1) 令和8年北方領土返還要求運動全国大会

2月7日(土)11:00~12:55、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)で、令和8年北方領土返還要求全国大会が開催されました。

時折小雪が舞う天候の中、多くの参加者が集まった会場に、高市内閣総理大臣はじめ、茂木外務大臣、木原内閣官房長官、黄川田内閣府特命担当大臣、自民党、国民民主党、公明党、日本維新の会、参政党、共産党、れいわ新選組(会場での紹介順。)の代表他、賛同する国会議員を迎えました。実行委員長の挨拶の後、高市総理が北方領土返還への意欲と高齢化する元島民の現状を踏まえて、人道的見地から「墓参」「交流」の再開への取り組みを述べ、茂木外相から外交上の取り組みの決意、黄川田大臣から北方領土の日に寄せる発言がありました。家族会からは、増田会長、各運営委員、首都圏の各



家族会員が出席し、本会の中畑運営委員が、皆様のご苦勞に支えられる署名活動の現況を伝えるとともに、今後も共に頑張ると力強く発言しました。



(3) 激励会

2月28日、富山県家族会が富山市の電気ビルで、入隊入校激励会を開催しました。

入隊・入校予定者49名、ご両親等65名、県知事、各首長、国会議員、県議、市議、学校関係者、部隊長等の来賓、家族会員等、239名が参加して盛大に行われた激励会終了後には「入隊・入校予定者のつどい」で、入隊入校予定者とそのご家族と昼食をとりながら歓談しました。

本激励会は配席に工夫を凝らしており、開始時より終了時まで、入隊入校予定者・ご家族の横に、入隊入校予定者と同じ地区会・軍種・任用区分・性別の子を持つ家族会員52名を、バディのように付ける形式にしました。

入隊・入校をまじかに控えたこの時期は、入隊・入校予定者やご家族は、未知の世界に飛び込むことに対し、規則正しい団体生活、厳しい訓練について行けるだろうか等、次から次へと、知らないことに起因する不安が出て来ますが、この不安に対し、ゆっくり話しの出来る「入隊・入校者のつどい」では、入隊・入校者やご家族が不安に思っていることを話して頂き、それに対して同じ境遇の先輩隊員の親として、家族会員が経験談等を話して、不安を解消・軽減して安心して入隊・入校して頂けるようにしました。

(4) 行事等参加

神奈川県自衛隊家族会、入間市自衛隊家族会は、それぞれ、海上自衛隊横須賀音楽隊第60回定期演奏会（2月6日）、中部航空音楽隊第48回定期演奏会（2月11日）

に参加しました。ご招待有難うございました。

関係部署に感謝申し上げます。



↑横須賀音楽隊の旗

←八木横須賀地方總監挨拶



(5) 自衛隊家族会「問い合わせ窓口」の集計結果（月間報告）

令和8年2月の問い合わせ窓口件数は、非会員からの“相談者や隊員に関する相談”のⅠ分類、家族会会員からの“家族会に関する問い合わせ”のⅡ分類がそれぞれ1件の計2件で、事務局で対応を終了しました。

最初の問い合わせは、現職からの「数カ月後に定年だが、親の介護等の事情から実家の近傍の共同機関を付配置として定年を迎えたい」という内容でした。（自衛隊は、定年になる概ね3か月前から「付」配置という再就職や身辺整理の為の配置転換を実

施し、本勤務の間は最後まで後顧の憂い無く仕事に邁進して頂く為の人事配置上の考慮が有ります。) 本人の人事担当者からは、希望する配置は定年退職者準備期間の者をケアする為の配置ではなく、不可能である旨返答が有り、本相談室を尋ねられました。これに対して、家族会としては、自衛隊の人事に責任を以て対応できる立場ではなく、本来の人事系列で引き続き相談することをコーチングしました。

今回の相談は、親の介護や自身のケアがあり、既に部隊から離れた実家での休業状態に入っている方からのものであり、相談者も近くにおられず、当窓口ご連絡された様です。特に、海・空自衛隊は、部隊が所在しない県も有る等、部隊が偏在し、希望する付配置を選択し難い構造的な要因が有ります。

付配置について整理しますと、付配置も勤務であり毎日出勤する必要があります。

また、就職する会社の面接等で出勤できない場合には有給休暇の処理をする必要があります。さらに、戦車、艦艇、戦闘機を運用する戦闘部隊に定年退職者準備の対応をさせる任務規定は無く、付配置先とはなり得ません。また、共同機関もその様な任務を与えられておらず、募集困難な現在の状況下においては一層多忙配置であり、3自衛隊の何処の組織も地本を「付」配置先として利用する様なことは有り得ません。

勿論、本人の希望で、付配置を経ずに最後まで地本で勤務し、そのまま定年を迎えた事例も過去にはありましたが、それは勤務として継続した結果です。

一方で、付配置となった方へ配慮することは規則で示されています。また、近年は、テレワークも勤務の手段として取り入れられています。コーチングのとおり人担当者を含む方々と良くご相談され、円滑に自衛隊退職後の生活に移行できることを祈念します。

II 分類の相談は、会員の方から「転居に伴い所属する県家族会が変わったが、新しい家族会に馴染めず退会を考えている」との相談でした。元の県家族会では楽しく活動をしていたということであり、再度の転居も有るであろうことから、無理をして活動に参加するのではなく、しばらく同県家族会の活動と距離を取って様子を見ることをお勧めし、コーチングとしました。

家族会の活動は会員の献身によって成り立っていますが、どの様な組織、集まりも人間で構成されている以上は、様々なマッチングの状況が有り、その雰囲気合う合わないは、個々人の感覚です。その上で、ボランティア活動である家族会の活動は、心を悩まして嫌々実施するものではないと思いますが、家族である隊員を支えるという崇高な活動である故に、努力される過程で生じる軋轢は悩ましいことです。

会長以下、本部としては、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく活動を実施して頂くことを各県家族会会長にはお願いしており、また、各県会長もその為に腐心されておられます。今後も更に明るく、活発な家族会活動であることを願うばかりですが、何か問題があればこの問い合わせ窓口を活用して頂きたいとお願いいたします。

4 事務局からの連絡・お願い

2月末にはお忙しいところ令和7年度事業計画及び令和7年度収支予算書を提出いただき有難うございました。事務局では、それらを取りまとめ、3月17日の理事会での審議を経て、内閣府に報告いたします。

また、年度末でお忙しいところですが、4月17日を期限として令和7年度収支計算書の提出をお願いいたしておりますので、こちらもご準備宜しくをお願いします。

以上

配布先

防衛省人事教育局長、文書課長、人材育成課長、厚生課長

統合幕僚監部総務部長、総務課長

陸上幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、同総括班長、厚生課長、家族支援班長

海上幕僚監部人事教育部長、人事計画課長、同募集推進室長、厚生課長、

航空幕僚監部人事教育部長、募集・援護課長、募集・援護調整官、募集班長、厚生課長、厚生班長、

陸上総隊司令部総務部長、

各方面総監部人事部長、募集課長、厚生課長、各自衛隊地方協力本部長

各師団・旅団司令部幕僚長